

# 2024年3月期 決算説明資料

---

株式会社あいちフィナンシャルグループ  
2024年5月14日



東証プライム・名証プレミア (7389)

# 目次

連結業績・配当	P2
2024年3月期決算概要	P3
コア業務純益	P4
預金の状況	P5
貸出金の状況	P6
貸出金利息の状況	P7
ソリューション・預かり資産関連手数料の状況	P8
有価証券の状況	P9
経費の状況	P10
与信コストの状況	P11
与信管理の状況	P12
自己資本比率の状況	P13
業績予想	P14

# 連結業績・配当

- 経常利益は前年比73億円増加。親会社株主に帰属する当期純利益は前年に経営統合に伴う「負ののれん発生益」804億円を計上していたことから前年比735億円減少。

## あいちFG連結業績

(単位：億円)	2023年度	前年比
経常収益	886	158
経常利益	125	73
親会社株主に帰属する 当期純利益	82	▲735

## 配当の状況

- ◆ 2024年3月期  
第2四半期 50円 期末 50円 合計 100円  
(連結配当性向59.0%)
- ◆ 2025年3月期(予想)  
第2四半期 50円 期末 50円 合計 100円

## 株主還元方針（配当政策）

収益基盤の強化に向けた内部留保を確保しつつ株主に対する還元を通して資本効率の向上を図るため、**1株につき100円**の年間配当を下限とし、自己株式取得についても柔軟に実施していくことを基本方針とします。

具体的には、配当金と自己株式取得合計の**総還元性向30%**を目処とします。

※負ののれん発生益は除く。

## あいちFG連結損益

		(単位：億円)	
		2023年度	前年比
1	連結粗利益	564	173
2	資金利益	529	106
3	役員取引等利益	118	25
4	その他業務利益	▲83	42
5	営業経費	437	96
6	貸倒引当償却費用	14	▲35
7	うち一般貸倒引当金繰入額	▲9	▲47
8	うち個別貸倒引当金繰入額	20	9
9	株式等関係損益	64	▲2
10	経常利益	125	73
11	特別損益	▲5	▲776
12	うち負ののれん発生益	-	▲804
13	うちシステム解約損失	2	▲21
14	税金等調整前当期純利益	120	▲703
15	法人税等合計	36	32
16	当期純利益	83	▲735
17	親会社株主に帰属する当期純利益	82	▲735

# 2024年3月期決算概要

- 資金利益および役務取引等利益の増加、国債等債券損失や一般貸倒引当金繰入額の減少等により、統合関連費用（物件費、臨時損失、特別損失に計上）として68億円を計上するも、2行合算の実質業務純益、経常利益、当期純利益は前年比大きく増加。

	2行合算		愛知銀行単体		中京銀行単体	
	(単位：億円)	前年比		前年比		前年比
1 業務粗利益	515	67	352	86	162	▲19
2 コア業務粗利益	609	15	405	22	204	▲7
3 資金利益	516	10	348	20	168	▲9
4 役務取引等利益	104	4	68	4	36	▲0
5 その他業務利益	▲106	52	▲64	61	▲42	▲9
6 経費	423	21	273	21	150	0
7 人件費	198	▲6	129	0	69	▲6
8 物件費	189	23	122	17	67	6
9 実質業務純益	91	45	79	65	11	▲19
10 コア業務純益	185	▲6	132	1	53	▲8
11 コア業務純益(除く投信解約益)	166	3	123	8	43	▲5
12 一般貸倒引当金繰入額	▲9	▲48	▲6	▲38	▲3	▲10
13 業務純益	100	94	86	104	14	▲9
14 臨時損益	▲8	▲39	10	▲40	▲19	1
15 うち株式等損益	63	▲7	45	▲19	17	12
16 うち不良債権処理額	22	5	9	2	13	2
17 経常利益	92	55	97	64	▲4	▲8
18 特別損益	▲4	27	▲0	6	▲3	21
19 当期純利益	64	58	69	47	▲4	11

# コア業務純益

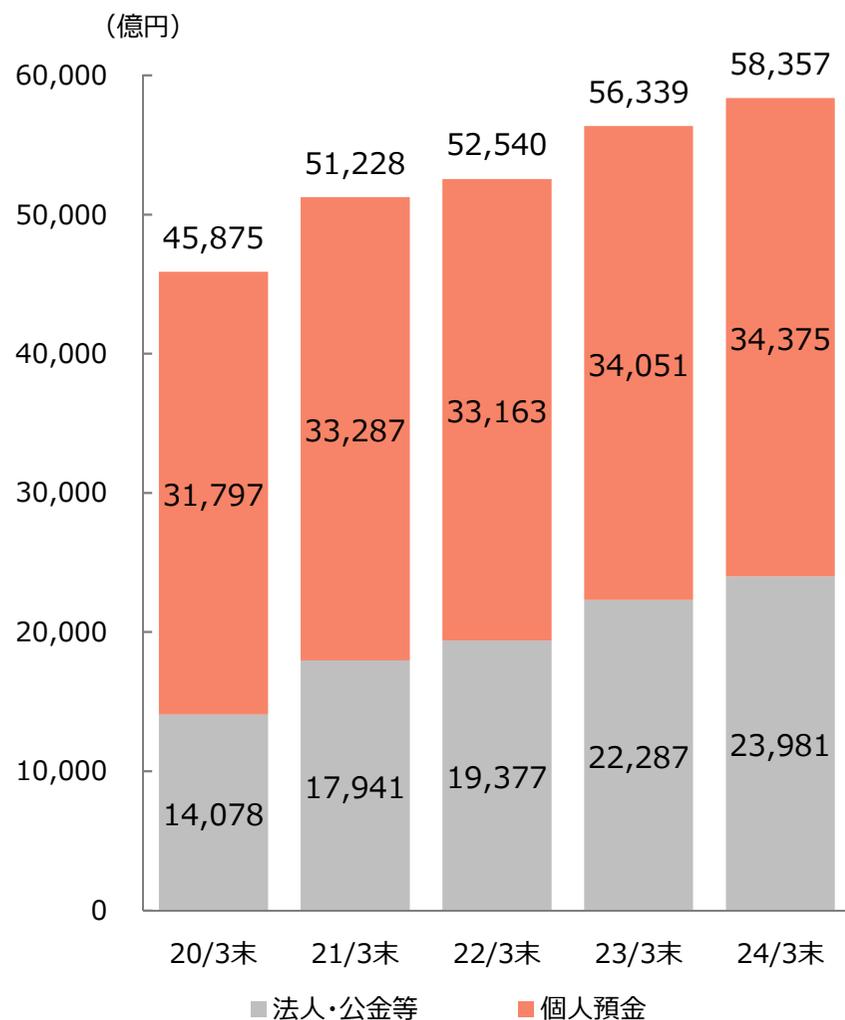
- 貸出金利息や有価証券利息配当金、役務取引等利益の増加等により、物件費に含まれる統合関連費用25億円を除いた2行合算のコア業務純益は前年を5億円上回る水準。

	(単位：億円)	2行合算		愛知銀行単体		中京銀行単体	
			前年比		前年比		前年比
1	業務粗利益	515	67	352	86	162	▲19
2	コア業務粗利益	609	15	405	22	204	▲7
3	資金利益	516	10	348	20	168	▲9
4	うち貸出金利息	360	7	233	10	127	▲3
5	うち有価証券利息配当金	184	13	127	13	56	0
6	役務取引等利益	104	4	68	4	36	▲0
7	その他業務利益	▲106	52	▲64	61	▲42	▲9
8	うち債券5勘定戻	▲94	52	▲52	63	▲41	▲11
9	経費	423	21	273	21	150	0
10	人件費	198	▲6	129	0	69	▲6
11	物件費	189	23	122	17	67	6
12	うち統合関連費用	25	12	17	8	7	4
13	実質業務純益	91	45	79	65	11	▲19
14	コア業務純益	185	▲6	132	1	53	▲8
15	コア業務純益（除く投信解約益）	166	3	123	8	43	▲5
16	統合関連費用控除後のコア業務純益	211	5	150	10	60	▲4

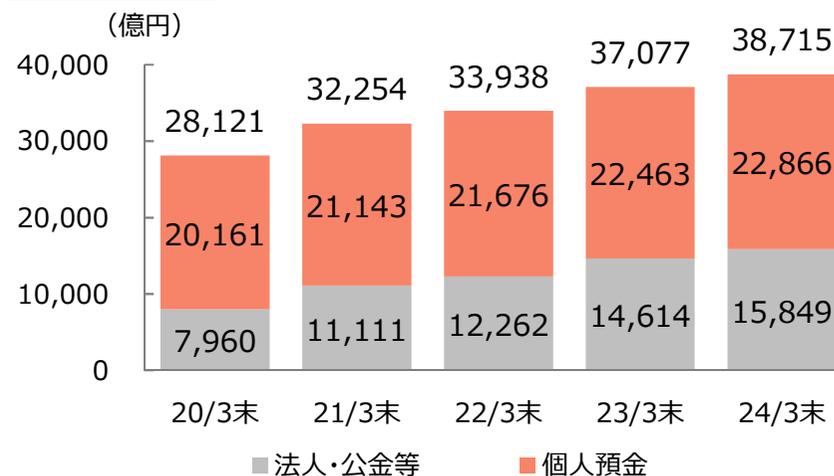
# 預金の状況

- 2行合算の預金残高は前年比2,018億円増加の5兆8,357億円。うち個人預金は前年比324億円増加。

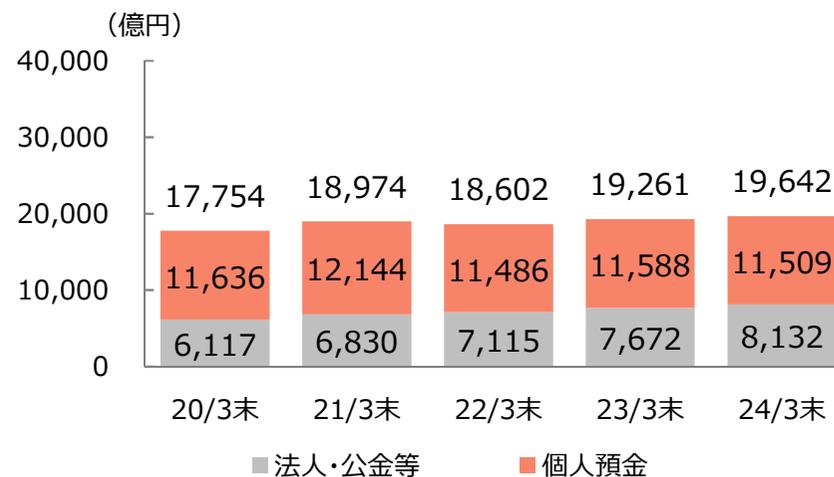
## 2行合算



## 愛知銀行



## 中京銀行

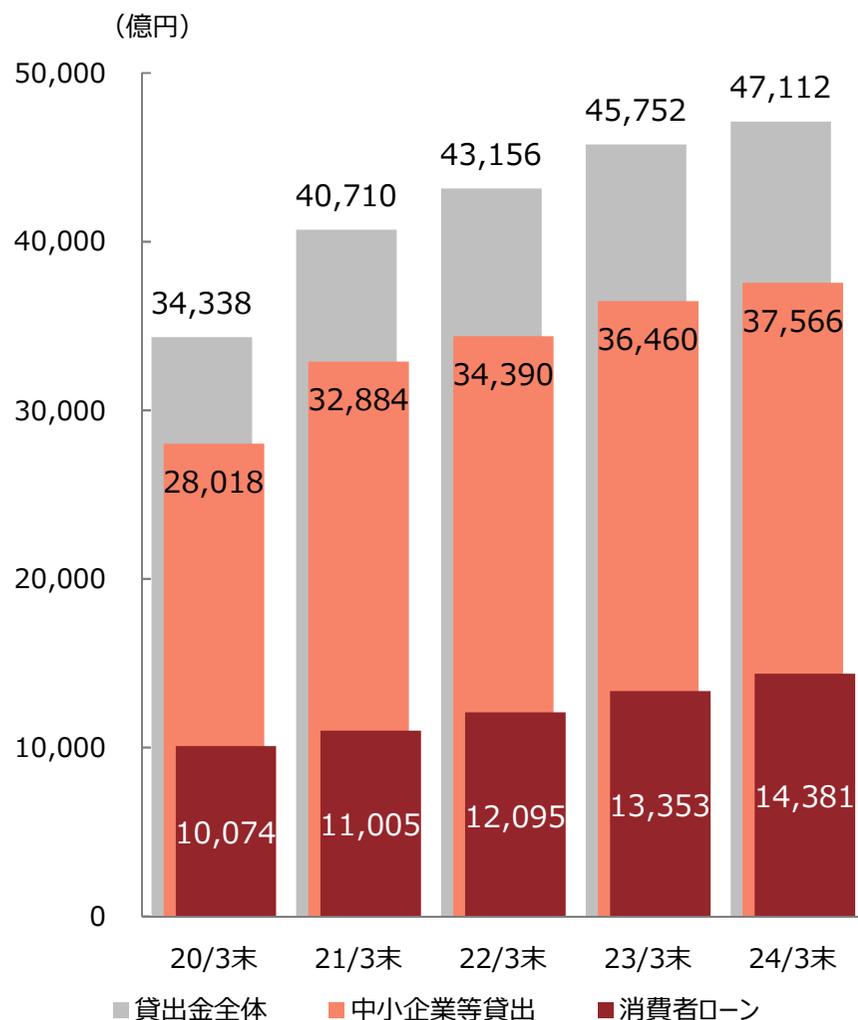


# 貸出金の状況

- 2行合算の貸出金残高は前年比1,359億円増加の4兆7,112億円。
- 中小企業貸出と住宅ローンを中心に増強し、2行合算の預貸金合計残高は10兆5,701億円。

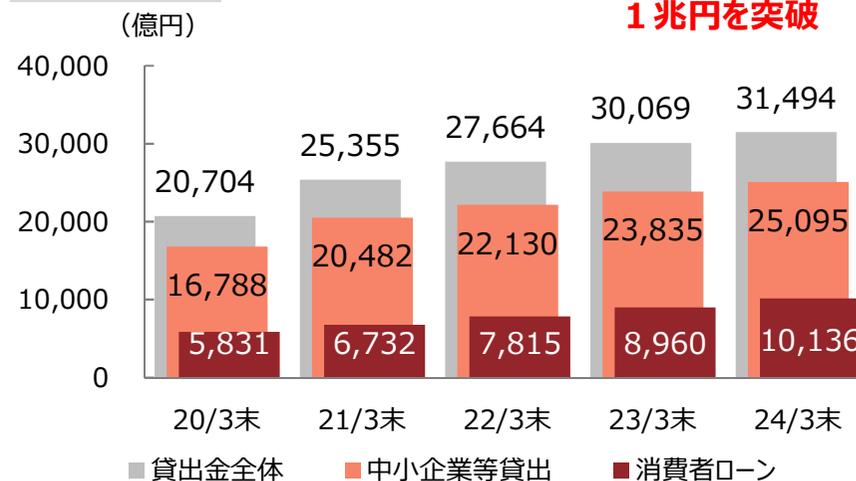
## 2行合算

2行合算で住宅ローンは1,001億円増加

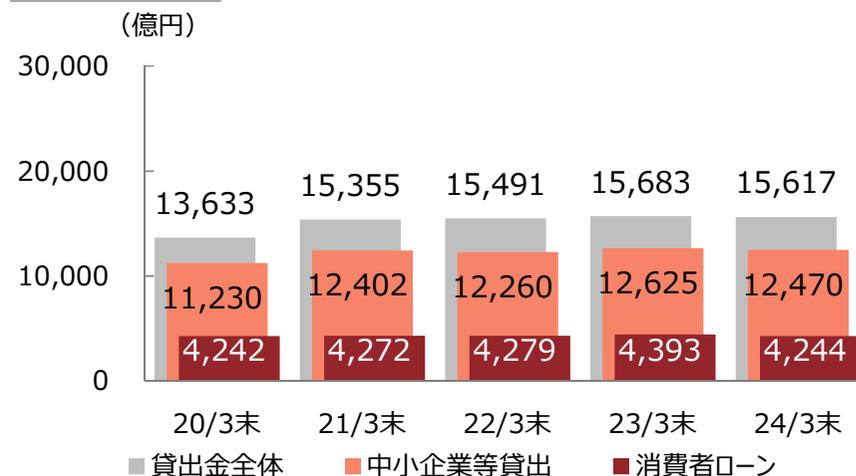


## 愛知銀行

消費者ローン残高  
1兆円を突破



## 中京銀行

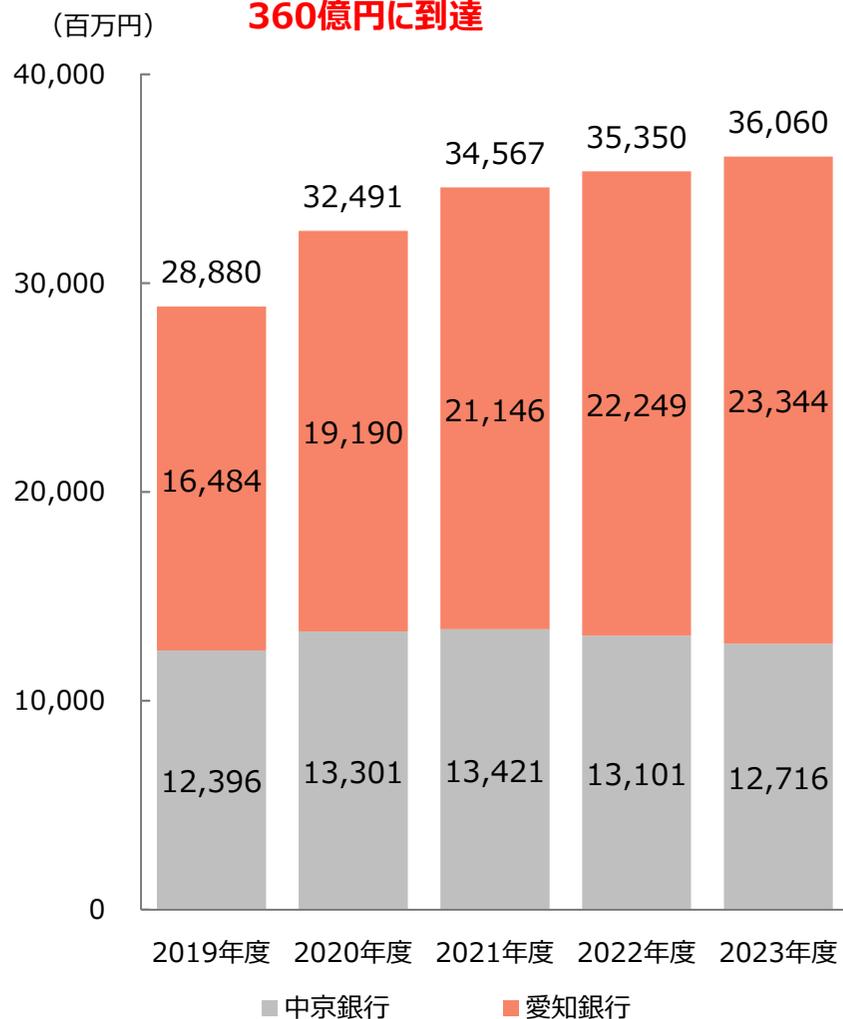


# 貸出金利息の状況

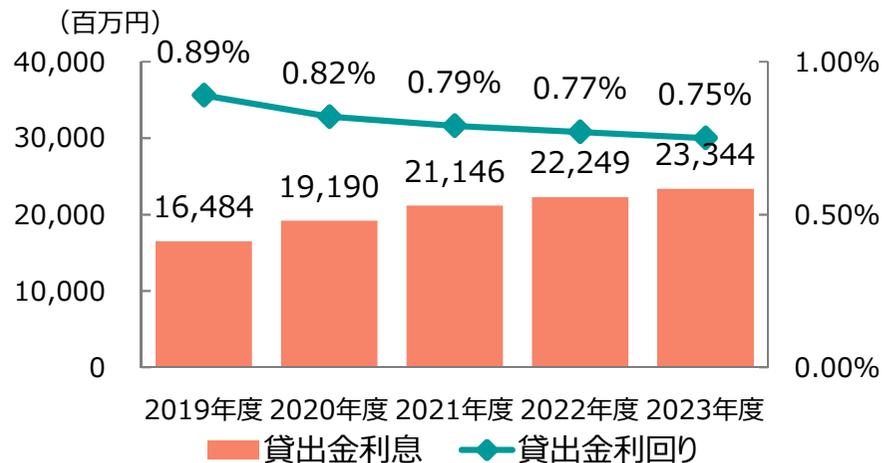
- 2行とも貸出金利回りは低下したものの、貸出金残高の増加により2行合算の貸出金利息は前年比7億円増加の360億円。

## 2行合算

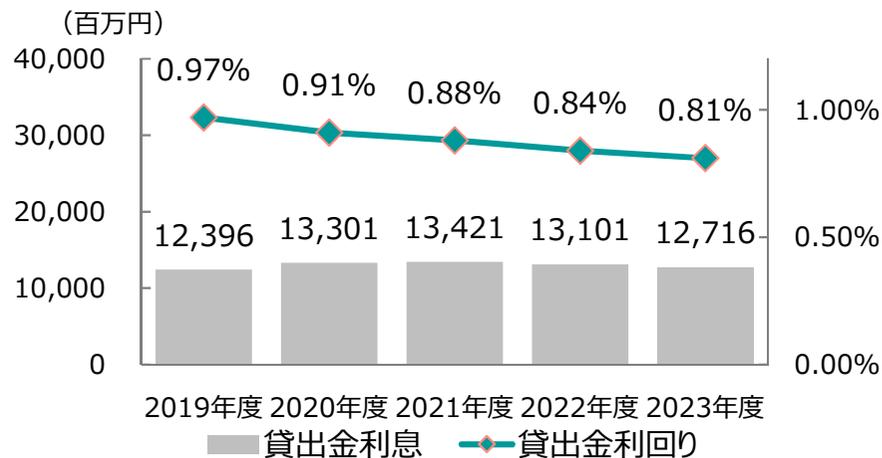
FG1次中計の2024年度貸出金利息目標  
360億円に到達



## 愛知銀行

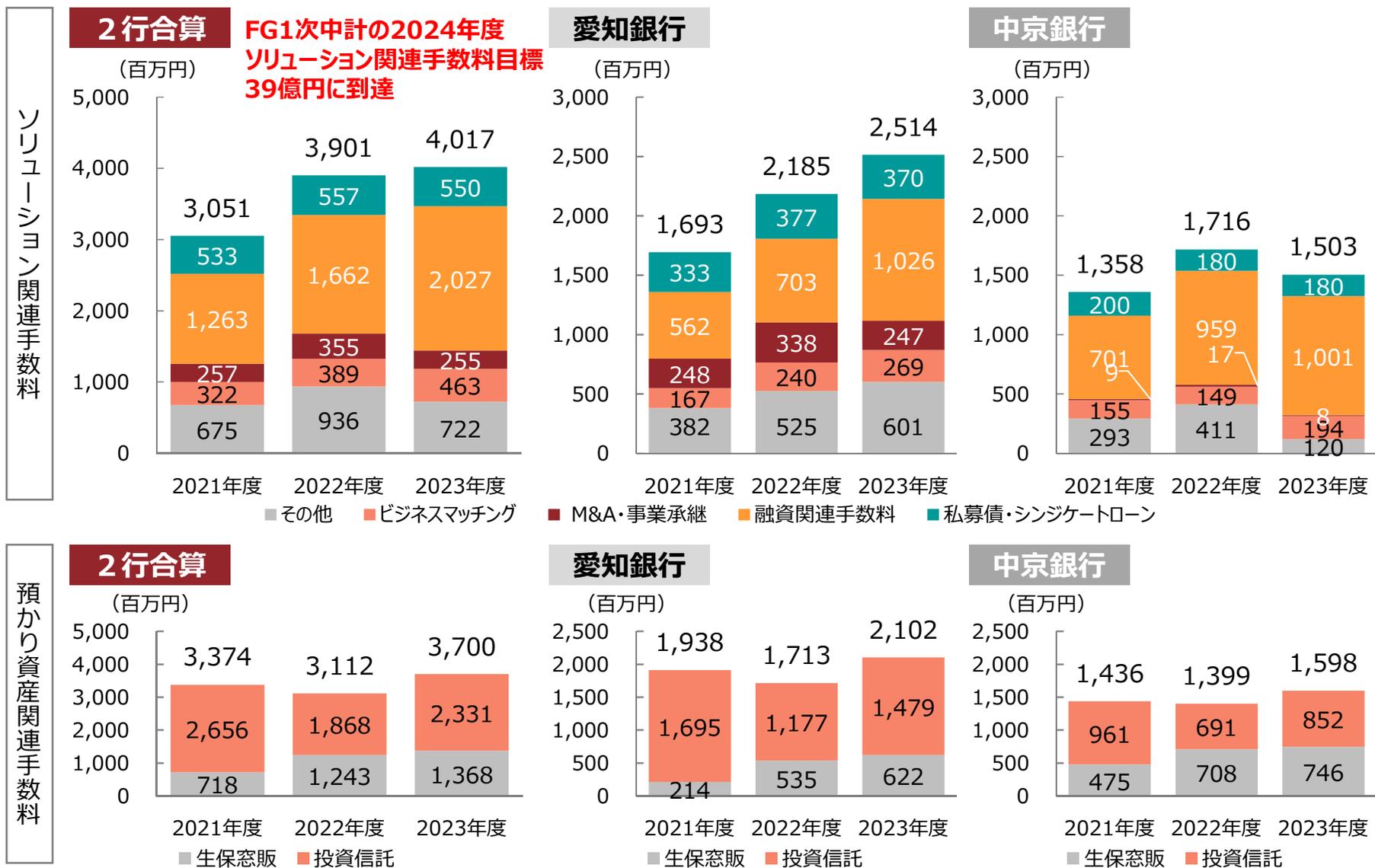


## 中京銀行



# ソリューション・預かり資産関連手数料の状況

- 2行合算のソリューション関連手数料はビジネスマッチングや融資関連手数料等で前年比1億円増加。
- 2行合算の預かり資産関連手数料は好調な市場環境を背景に投信・生保とも増加。



# 有価証券の状況

- 前年より取り組んできた有価証券ポートフォリオ再構築により、2行合算の国債等債券損失は94億円と前年比52億円の減少。有価証券評価益は2行合算で1,170億円と、前年比704億円増加。

## 有価証券関係損益

(単位：億円)

	2行合算		愛知銀行		中京銀行	
		前年比		前年比		前年比
1 有価証券利息配当金	184	13	127	13	56	0
2 投信解約損益	18	▲10	9	▲6	9	▲3
3 有価証券関係損益	▲31	45	▲7	44	▲24	0
4 国債等債券損益	▲94	52	▲52	63	▲41	▲11
5 株式等損益	63	▲7	45	▲19	17	12
6 有価証券関連損益	152	59	120	58	32	1

## 有価証券評価損益

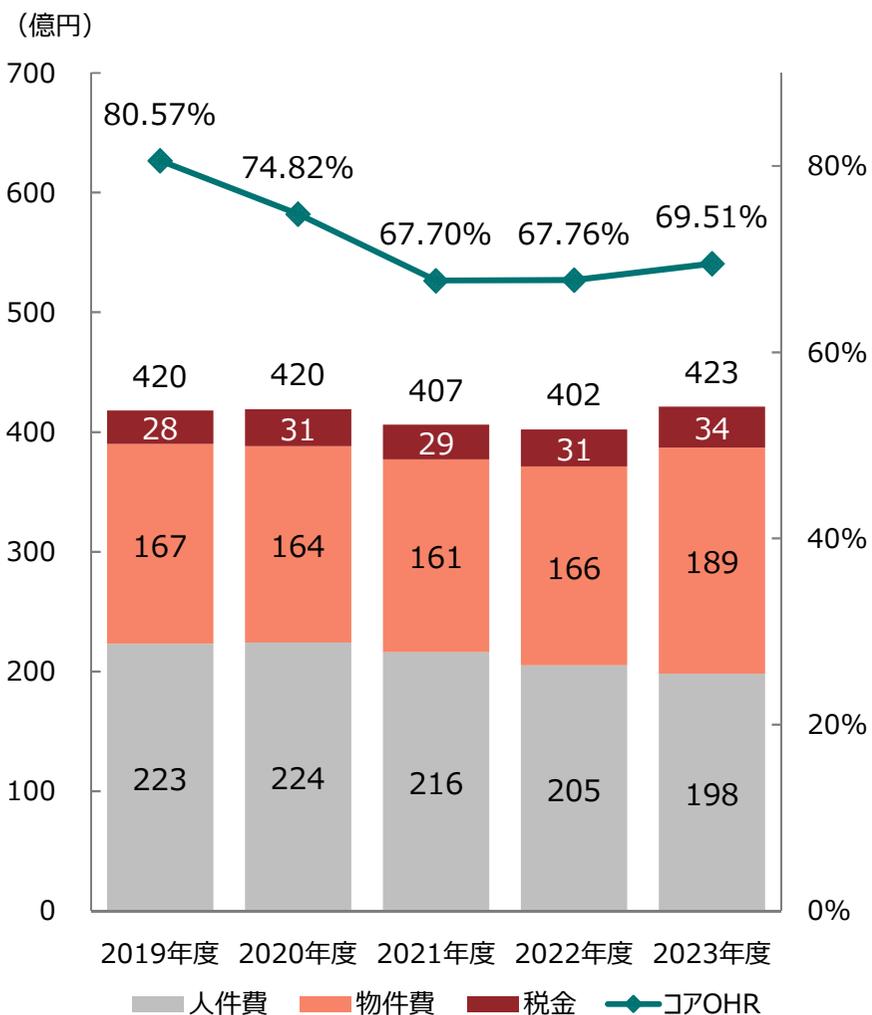
(単位：億円)

	2行合算		愛知銀行		中京銀行	
		前年比		前年比		前年比
1 有価証券評価損益	1,170	704	1,050	637	119	67
2 株式	1,181	519	1,022	471	159	48
3 債券	▲187	▲78	▲154	▲56	▲32	▲21
4 外国債券・その他	175	263	183	222	▲7	40
5 評価益	1,420	682	1,251	635	168	46
6 評価損	250	▲22	200	▲1	49	▲20

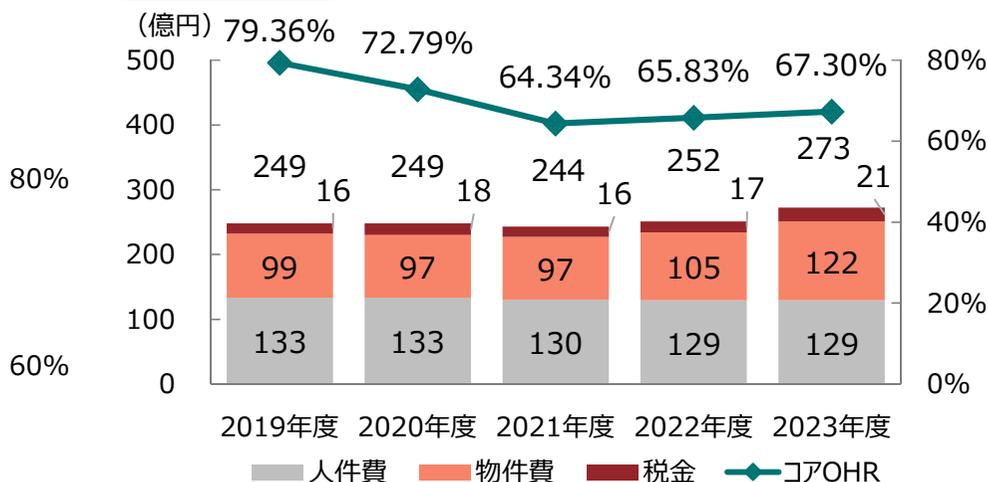
# 経費の状況

- 2行合算の経費は423億円と前年比21億円増加し、コアOHRは1.75ポイント上昇。物件費に統合関連費用として2行合算で25億円計上したことが主な要因。

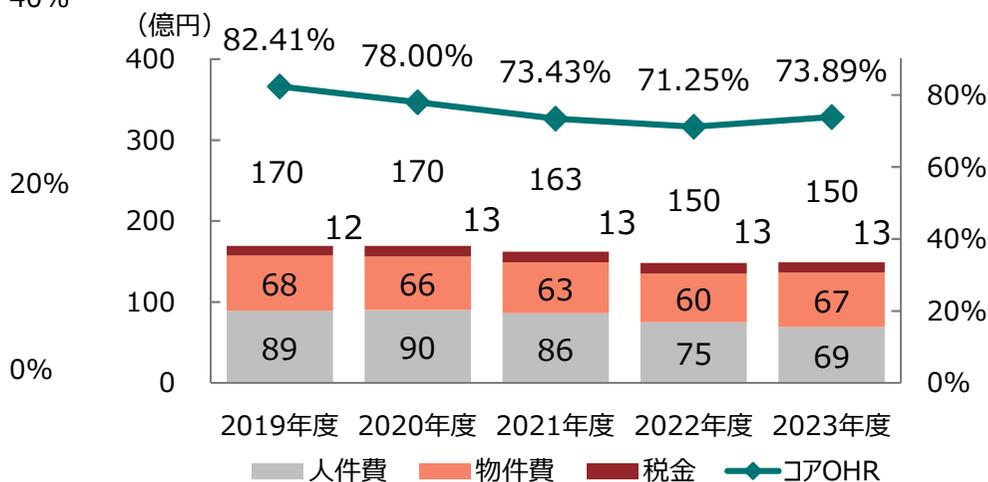
## 2行合算



## 愛知銀行



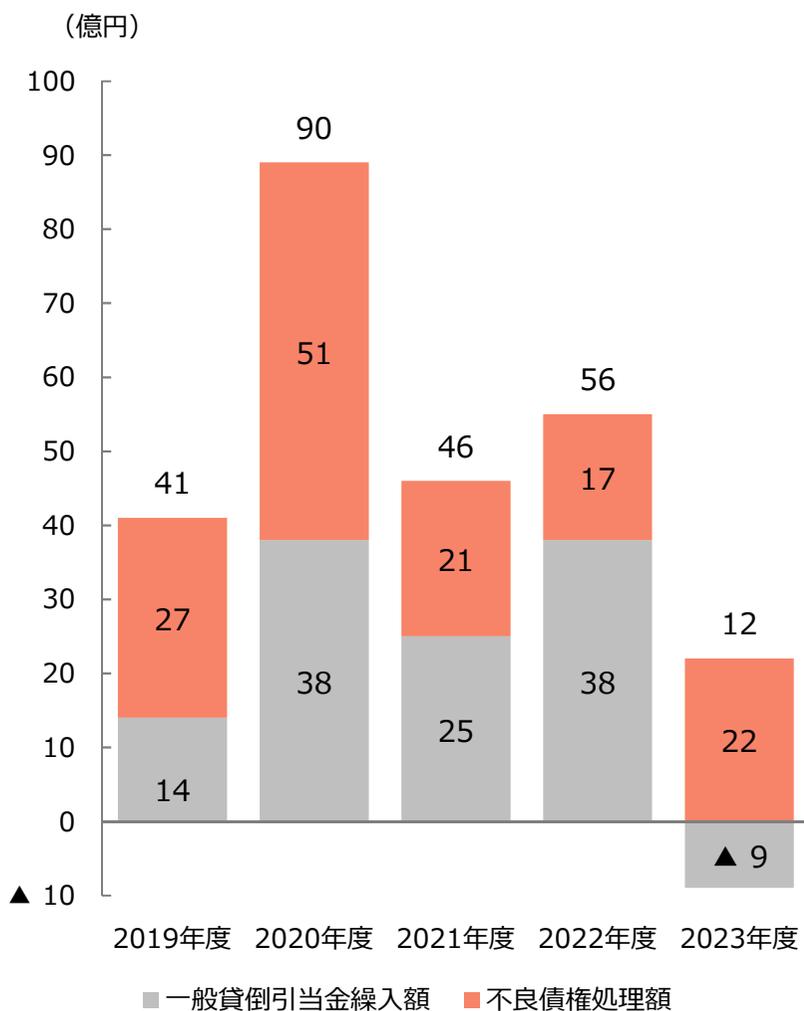
## 中京銀行



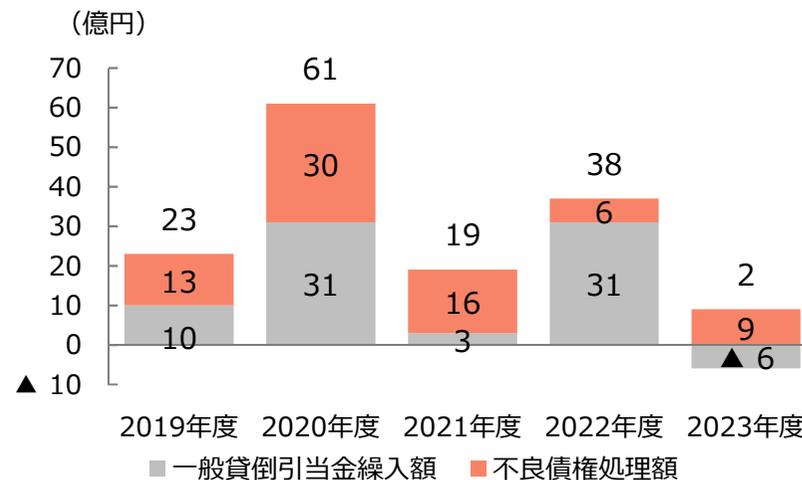
# 与信コストの状況

- 2行合算の与信費用は12億円と前年比44億円減少。愛知銀行では貸倒実績率低下、中京銀行では予想損失率低下等により一般貸倒引当金の戻入が発生したことが主な要因。

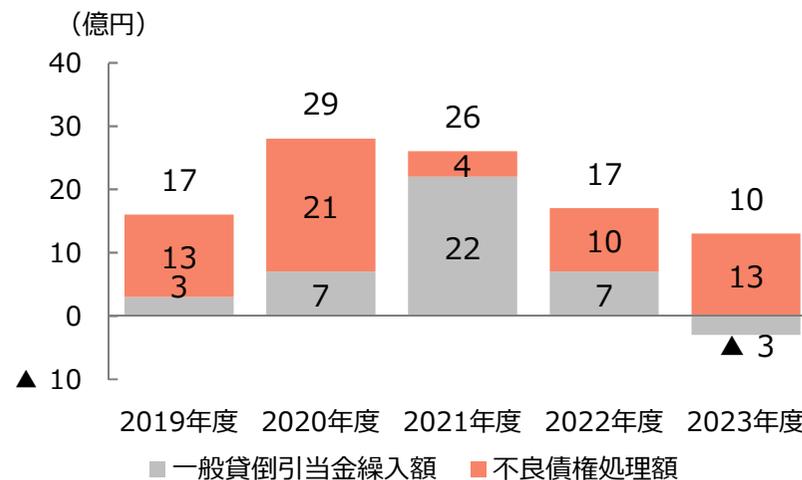
## 2行合算



## 愛知銀行



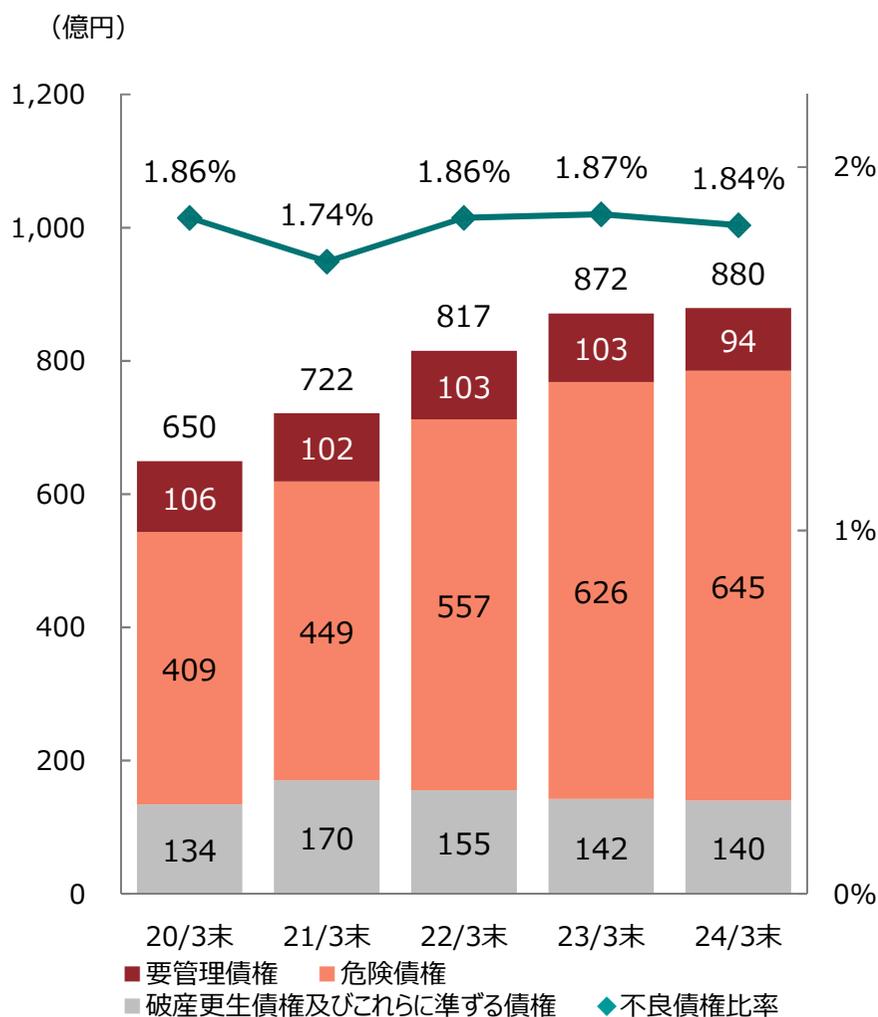
## 中京銀行



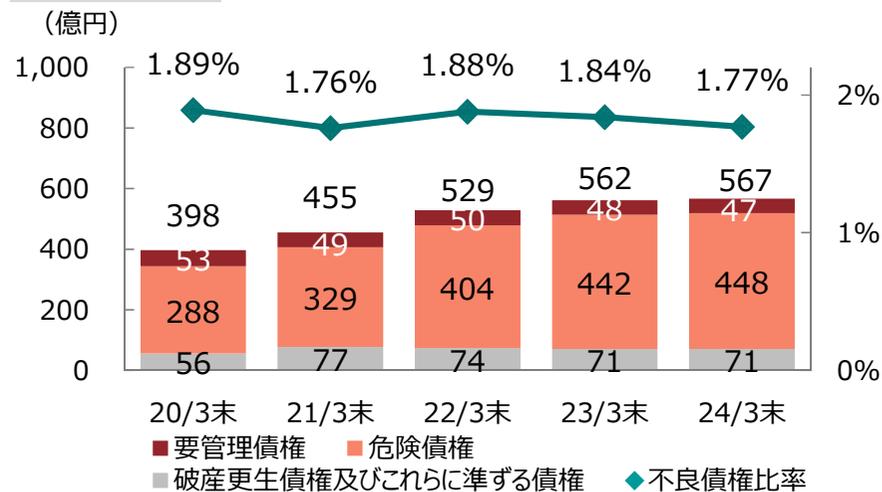
# 与信管理の状況

- 2行合算で不良債権額は880億円と前年比7億円増加も、不良債権比率は1.84%と前年比0.03ポイント低下、問題ない水準。

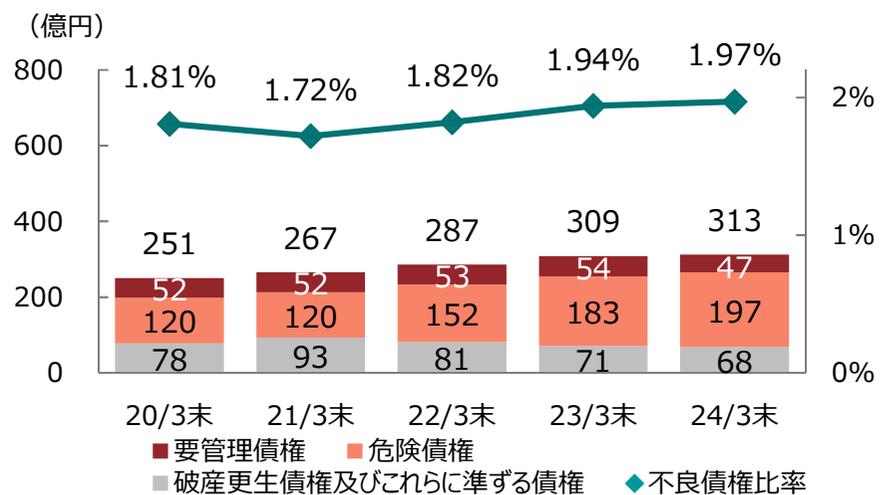
## 2行合算



## 愛知銀行



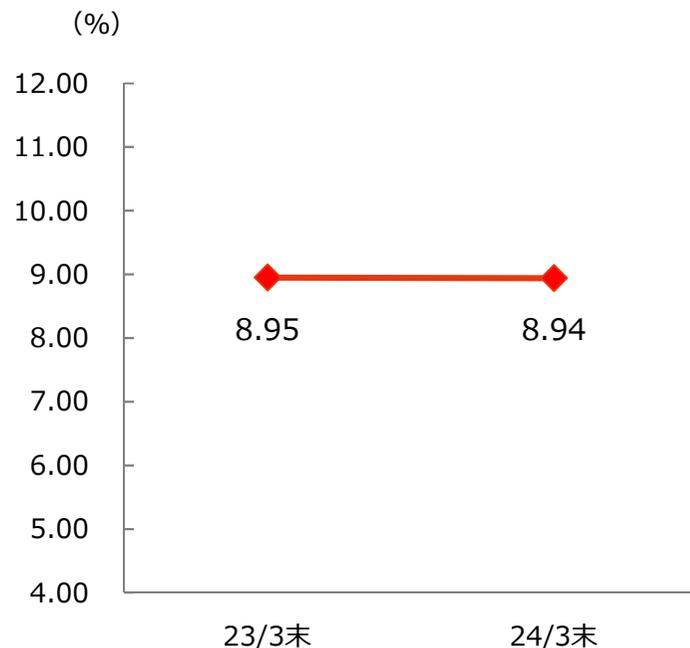
## 中京銀行



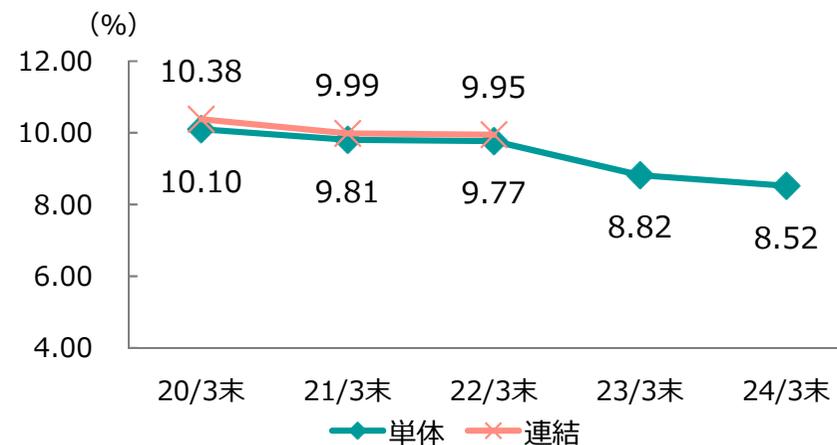
# 自己資本比率の状況

- FG連結自己資本比率は8.94%。
- 愛知銀行単体ではリスクアセット増加により0.30ポイント低下、中京銀行単体では0.08ポイント上昇。

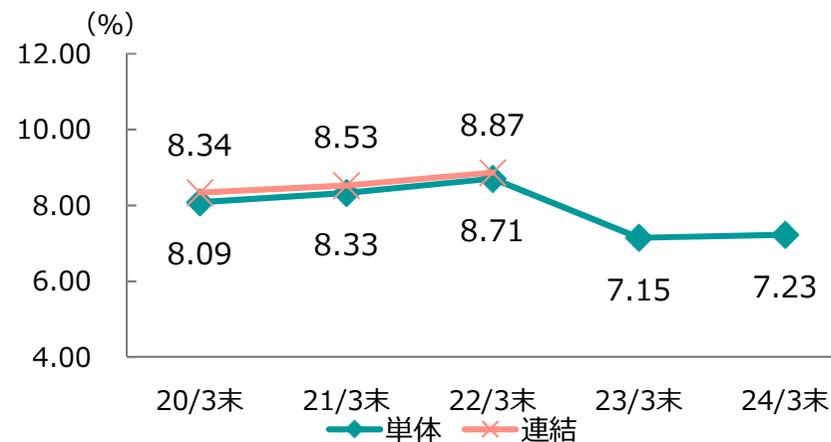
## FG連結



## 愛知銀行



## 中京銀行



# 業績予想

- FG連結の経常利益は45億円と前年比▲80億円、当期純利益は10億円と前年比▲72億円を見込む。
- 2行合算では、コア業務純益は78億円と前年比▲107億円、経常利益は32億円と前年比▲60億円、当期純利益は30百万円と前年比▲64億円を見込む。
- 2025年1月に予定している銀行合併を控え、今年度は統合関連費用の計上がピークとなり、110億円程度の支払いを見込む。

## FG連結

(単位：億円)

		2023年度 通期	2024年度 中間期予想	2024年度 通期予想	2023年度比
1	経常利益	125	40	45	▲80
2	当期(中間)純利益	82	25	10	▲72

## 2行合算

(単位：億円)

		2023年度 通期	2024年度 中間期予想	2024年度 通期予想	2023年度比
1	コア業務純益	185	51	78	▲107
2	経常利益	92	36	32	▲60
3	当期(中間)純利益	64	21	0	▲64

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化等により、異なる可能性があることにご留意ください。

<お問合せ先>

株式会社あいちフィナンシャルグループ 経営企画部

TEL : 052-262-6512

FAX : 052-262-6517

URL : <https://www.aichi-fg.co.jp/>